

## ストップ温暖化センターみやぎ「通信」⑱

エコパートナーシップ 2004 にて

### 推進員活動の実績作り。着々と進む

この間、宮城県地球温暖化防止活動推進員とセンターとの協力により、イベントが行われています。

6月5日(土)に仙台で行われたエコパートナーシップ2004では「省エネのツボ」と題し、普段見過ごされている無駄な待機電力を測定器具で測定し、来場者に説明しました。また環境家計簿や省エネグッズなども説明しました。7月4日(日)「石巻市環境フェア」においても同様の活動を行いました。

来場者の中にはスイッチ付テーブルタップなどの省エネグッズを既に使っている方も多く、新たな「省エネのネタ探し」が必要だと感じることもありました。

委嘱後、推進員の活動の場をどう確保するかが課題となっていました。こうした実績を通して活躍の場が広がっていけばと期待しています。



石巻市環境フェアにて

## MELONのあみめ③

### 『あみめ特派員』募集中!

情報紙の記事を執筆してくださる『あみめ特派員』を募集しています。皆さんが参加した環境に関するイベントや取り組みについてご紹介ください! お問い合わせ・お申し込みは MELON 情報センター鈴木までご連絡ください。

報告者：岩崎玲子さん (MELON 理事)  
『自然エネルギー2004 直前シンポジウム  
—自然エネルギーの爆発的普及を目指して—』  
参加報告



パネルディスカッションの様子

2004年6月1~4日にドイツのボンで自然エネルギーの促進にする国際会議があり、国際的なレベルや各地域のレベルでの政策と市場の取り組みについて、集中的に議論が行われました。それに先立ち、5月22日に多くの環境NGOが東京に集まり、日本における自然エネルギーの普及状況や普及の障害を克服するための取り組みについて活動報告および意見交換を行いました。中でも03年4月に施行された「新エネ等特別措置法(RPS法)」により風力発電等の普及が大きく阻害されている現状と今後この政策を変えていくことの必要性について議論が集中しました。

私はパネルディスカッション「日本国内の自然エネルギー促進に向けて」に参加し、MELON 風力発電推

進プロジェクトの活動状況報告を行いました。立地条件や風況、法律、生物への影響などを考慮した上での設置候補地の選定、自治体との協力など、さまざまな困難をのりこえて、04年4月には七ヶ宿町との協力により1年間の風況調査を開始したことを報告しました。その結果次第で、「宮城県に風車を」という夢に向けて歩みだしたいのですが、「RPS法」の影響で、電力買取の可能性が低くなってきており、実現困難な状況に陥っていること、その見直しには全国的規模の運動が必要との意見を述べました。